

令和3・4年度長崎市教育委員会指定 Frontier GIGA School (FGS)

長崎市立桜馬場中学校 研究発表会

研究資料

全体会の流れ

- **研究の概要について** : 5分
- **授業研究チームの実践について** : 5分
- **探究心育成チームの実践について** : 10分
- **調査分析チームの実践について** : 5分
- **質疑応答** : 15分

1. 1年目の研究

G I G Aスクール構想

- ✓ 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する
- ✓ これまでの我が国の教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す

1. 1年目の研究

中央教育審議会答申（令和3年4月22日）

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して

～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～

個別最適な学び

令和の日本型学校教育

協働的な学び

1. 1年目の研究

何に使えるの？

使うのが
とても難しそう

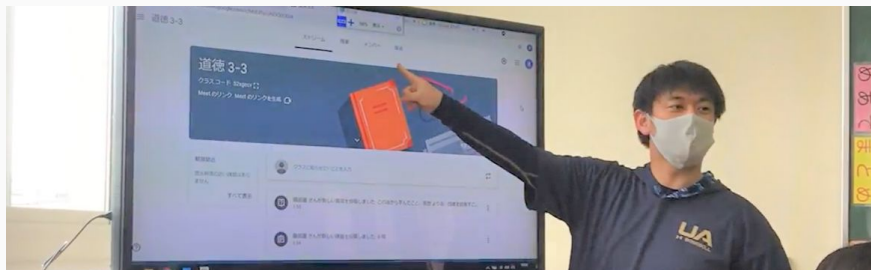
得意な人だけ
すればいい

本当に効果が
あるの？

わざわざ
使わなくても...



使うことを当たり前にする



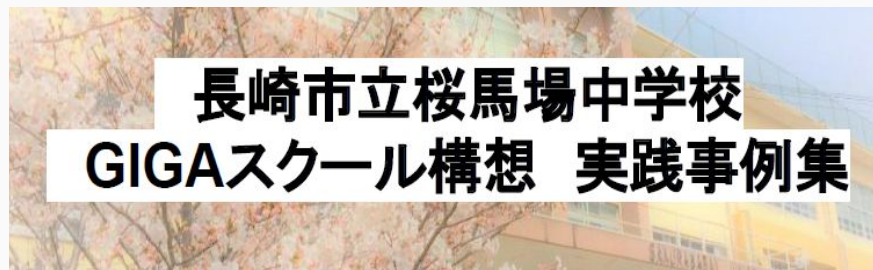
教科での授業実践



校内研修での協議



欠席者への授業のリモート配信



長崎市立桜馬場中学校
GIGAスクール構想 実践事例集

実践事例集の作成、公表・共有



生徒会活動（係活動）への活用

GIGAスクール構想とは・・・

- 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークの整備
- 生徒1人1人に最適化された学びの提供
生徒の状況に合わせた学びが可能になる。また、生徒が興味を持ったことを調べたり、写真や動画などでまとめたり、友達同士で共有したりする過程で、創造性を育む学びが実現できる。
- 教員と生徒、生徒同士の双方向のコミュニケーション
子供が互いの考えをリアルタイムで共有できたり、教員が生徒の学習状況や反応をより深く知ったりすることができる。



オンデマンド型保護者説明会

生徒会主催のリモート集会の開催



PTA主催のChromebook体験会

1. 1年目の研究

桜馬場中 GIGA 五原則

第1条

先生の許可をもらってから、許可されたことのみ使用する。

- 学習活動や専門部活動、生徒会活動に積極的に活用しましょう。
- 朝の時間や休み時間に、先生の許可なく使わないようにしましょう。
- 学習とは関係のないことには使用しないようにしましょう。

第2条

乱暴に扱わず、大切に使用する。

- 壊れないように、優しく、丁寧に、大切に扱きましょう。
- コンピュータの設定は勝手に変更せず、先生に許可をもらいましょう。
- 使い終わったら、充電保管庫に必ず戻しましょう。

第3条

人が嫌がったり、困ったりする使い方はしない。

- 人の悪口や噂を書き込まないようにしましょう。
- 人の写真を許可なく撮影したり、使用したりないようにしましょう。

第4条

IDとパスワードは聞かない、教えない。

- 自分の個人情報は人に教えたりせず、自分のことは自分で守りましょう。

第5条

正しい使い方ができないときは、使用の制限がかかる。

- よりよい活用方法について、“自分たち”で考え、実践していきましょう。

Chromebookを使用する上での 最低限のルールを「見える化」

GIGA五原則を活用した情報モラル指導

これらの使い方

個人のスマートフォンや
タブレットの使い方
同じ！！

桜中生の皆さんにお願いします！

それは・・・

正しく使う

ということ

1. 1年目の研究

1年目の研究を通して見えてきた研究の可能性

1人1台端末を活用することで

- 1) 生徒の興味・関心等に応じ、一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会が提供できる
- 2) 生徒同士の学び合い、多様な他者と協働した学びが実施できる
- 3) 支援が必要な生徒に、より重点的で個に応じた指導が実施できる
- 4) ふるさとの「ひと」「もの」「こと」について考えを深める探究的な学習を実施し、学校教育目標「国際社会に生きるよき日本人」の具現化につながる

【柱1】

「個別最適な学び」と「協働的な学び」が一体的に充実される

「令和の日本型学校教育」の実現

【柱2】

ふるさとの「ひと」「もの」「こと」について考えを深めさせる

探究的な学習の実施

2. 本年度の研究

こんな生徒を育てたい！

学習したことを実社会に
生かそうとする意欲、
学びに向かう力を
高める



自分のまちを知り、
人を知り、文化や歴史を
誇らしげに語るこ
とができる

令和4年度 長崎市立桜馬場中学校 研究主題

1人1人の力を高め、

共によりよく生きようとする生徒の育成

～Chromebookの利活用に夢をのせて～

1人1人の力を高め、 共によりよく生きようとする生徒の育成

～Chromebookの利活用に夢をのせて～

【柱1】

教科学習における
個別最適な学び・協働的な学びの実施

授業研究チーム

【柱2】

総合的な学習の時間における
探究的な学習の実施

探究心育成チーム

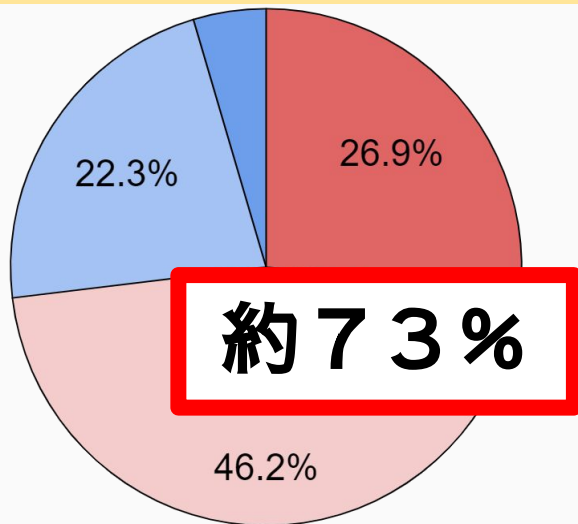
生徒の変容や研究成果、課題等の調査・検証

調査分析チーム

2. 本年度の研究

目標とする数値

各教科で学んだことを生かしながら、**自分の考えをまとめる活動**を行ってきたか。



- 当てはまる
- どちらかといえば当てはまる
- どちらかといえば当てはまらない
- 当てはまらない

約73%



85%以上

R4 前期

生徒

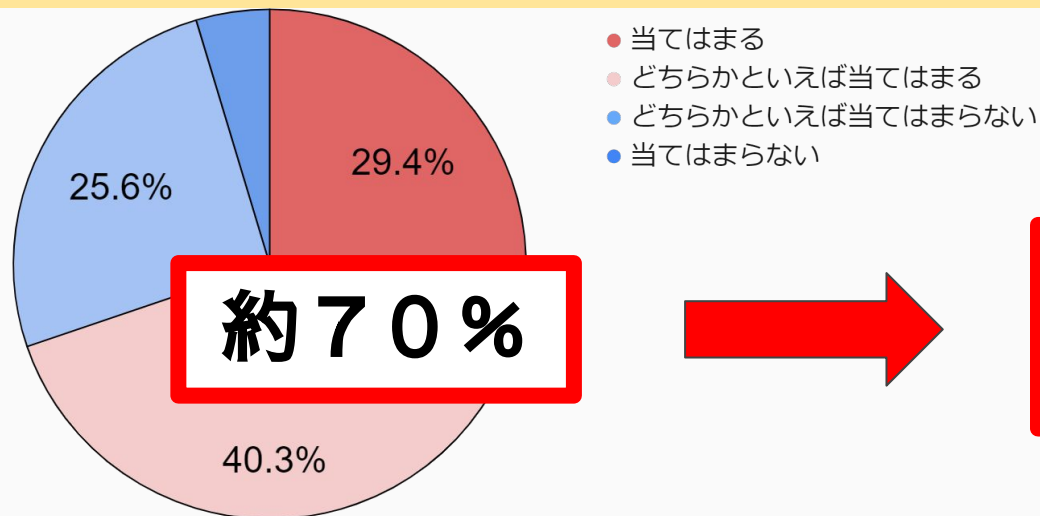
目標

校内アンケートより

2. 本年度の研究

目標とする数値

各教科で学んだことを生かしながら、**思いや考えをもとに新しいものを作り出す活動**を行ってきたか。



約70%

R4 前期

生徒

85%以上

目標

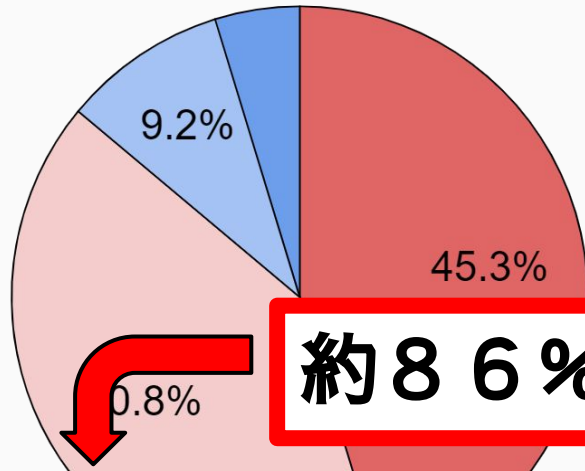
校内アンケートより

2. 本年度の研究

目標とする数値

クロームブックを活用して学習に取り組む意欲や態度が高まったか。

生徒

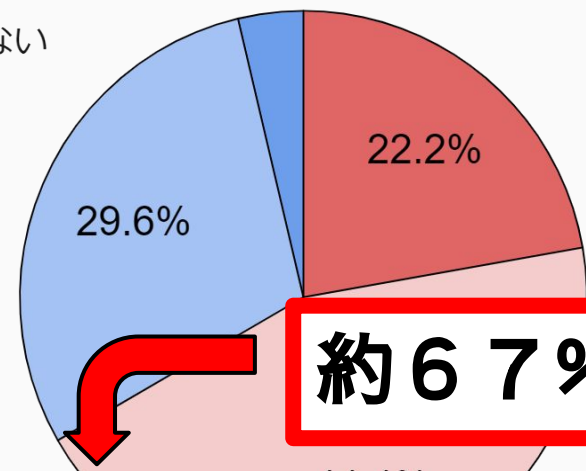


約86%

93%以上

- 当てはまる
- どちらかといえば当てはまる
- どちらかといえば当てはまらない
- 当てはまらない

教職員



約67%

80%以上

授業研究チーム

1. 授業研究の視点
2. 職員の実態
3. 職員研修と授業実践

1. 授業研究の視点

(1) 個別最適な学び

指導の個別化 ... 一定の目標をすべての
子供が達成することを目指す

学習の個性化 ... 子供一人一人の興味・関心、キャリア形成の方向性等
の個々の異なる目標の達成を目指す



《 Chromebookの利活用場面 》

自己内対話（振り返りの入力）、情報の検索、
動画撮影、データの処理、AIドリルの活用、レポート作成

1. 授業研究の視点

(2) 協働的な学び

子供たち同士が教え合い学び合う協働的な学び

○異なる考えを組み合わせ、よりよい学びへ

○内容を他者に説明する、それを聞いて、自分の考えを深める・高める



《 Chromebookの利活用場面 》

意見の整理、思いや考えの深化、共同制作・発表

1. 授業研究の視点

1. 授業研究の視点

(1) 個別最適な学び

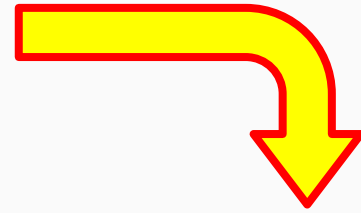
指導の個別化 ... 一定の目標をすべての子供が達成することを目指す

学習の個性化 ... 子供一人一人の興味・関心、キャリア形成の方向性等の個々の異なる目標の達成を目指す



《 Chromebookの利活用場面 》

自己内対話（振り返りの入力）、情報の検索、動画撮影、データの処理、AIドリルの活用、し



往還

1. 授業研究の視点

(2) 協働的な学び

子供たち同士が教え合い学び合う協働的な学び

○異なる考えを組み合わせ、よりよい学びへ

○内容を他者に説明する、それを聞いて、自分の考えを深める・高める



《 Chromebookの利活用場面 》

意見の整理、思いや考えの深化、共同制作・発表

往還

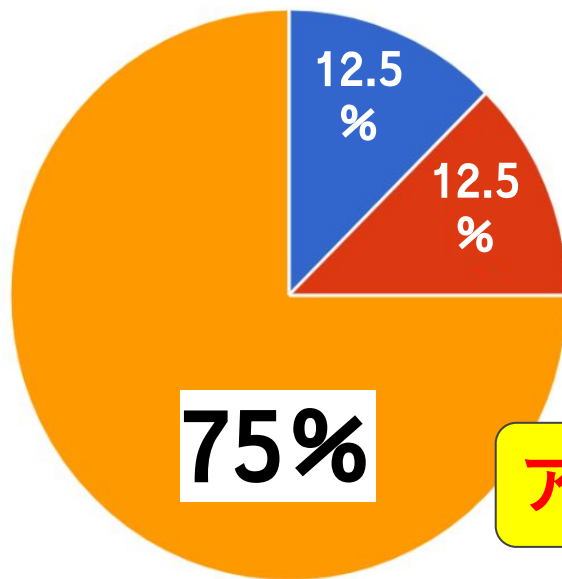


2. 職員の実態

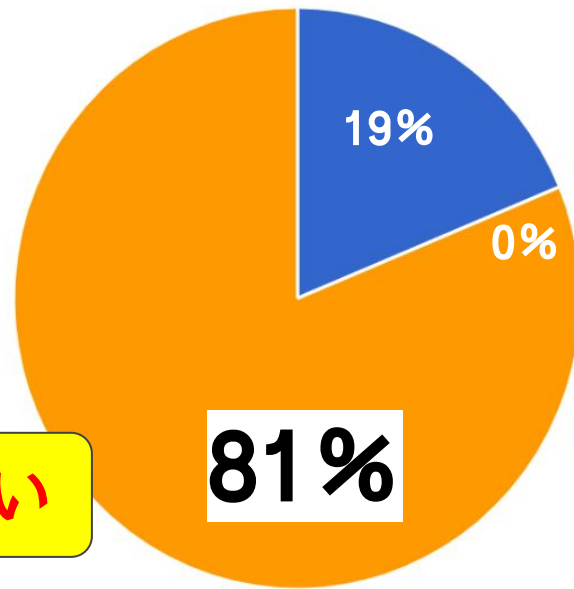
《 R4 4月から7月までのアプリ使用回数は？ 》



フォーム



ジャムボード



アプリの使用頻度が低い

2. 職員の実態

《 研究を進めるにあたり、困っていることは？ 》

- どんな場面で使うかがイメージできない
- やってみたいが、準備する時間がない
- 全てわからない。マンツーマンで習いたい
- 活用事例を多く知りたい
- ワークシート機能を使ってみたい
- 使わせたときに上手くいかない生徒への対応に時間を取られて進度が遅れる(授業が時間内に終わらない)ことが困る
- 教えてもらってもすぐ忘れてしまう



3. 職員研修と授業実践

(1) 職員研修

(2) 研究授業

(3) 実践事例集の作成


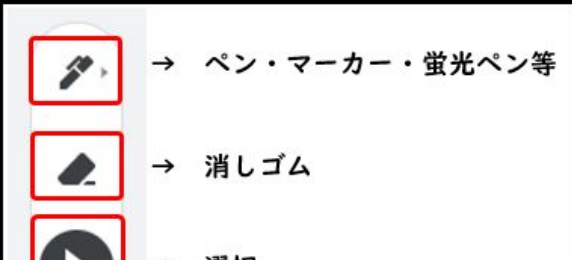
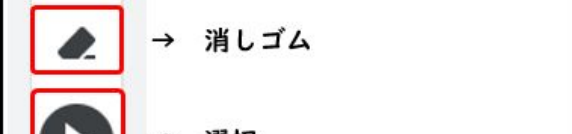
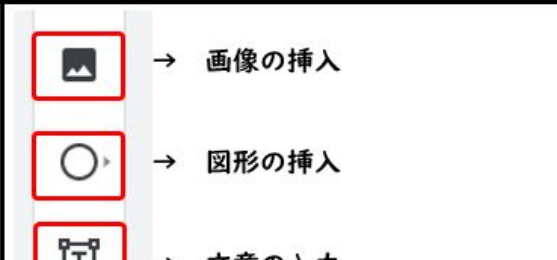
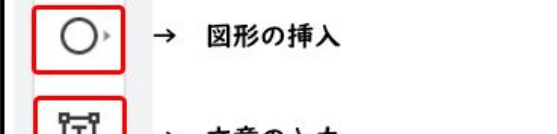


3. 職員研修と授業実践 (1) 職員研修 (アプリの使い方・7月)

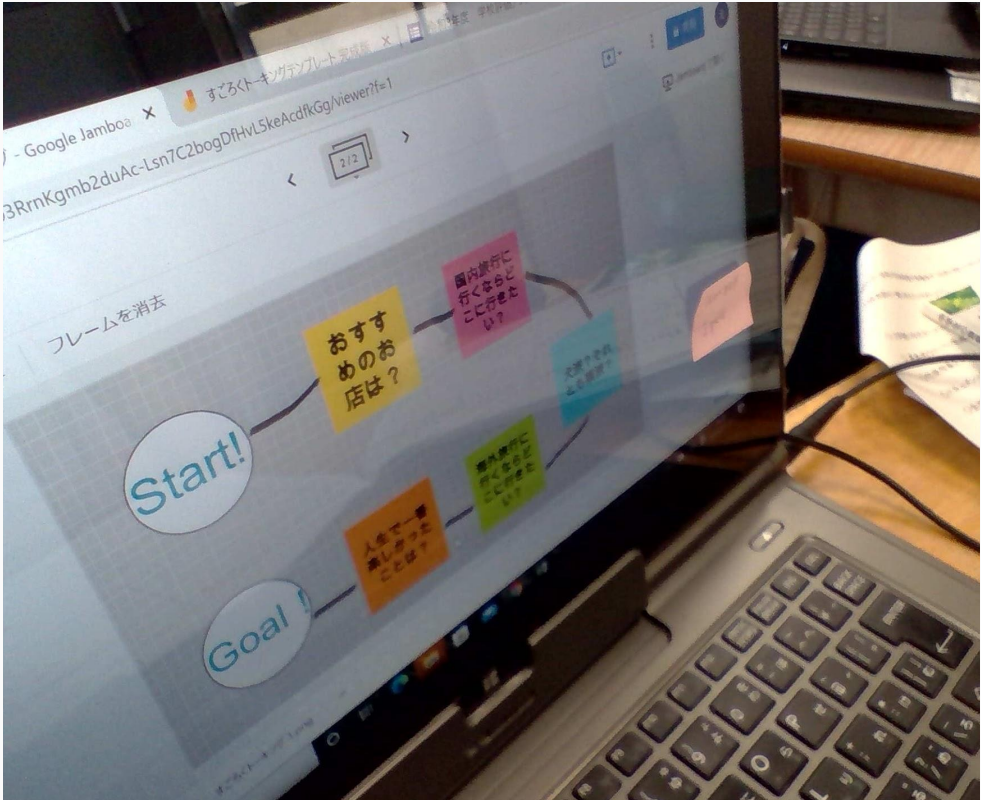
Google Jamboard の使い方① 【 起動編 】

独自マニュアルを作成

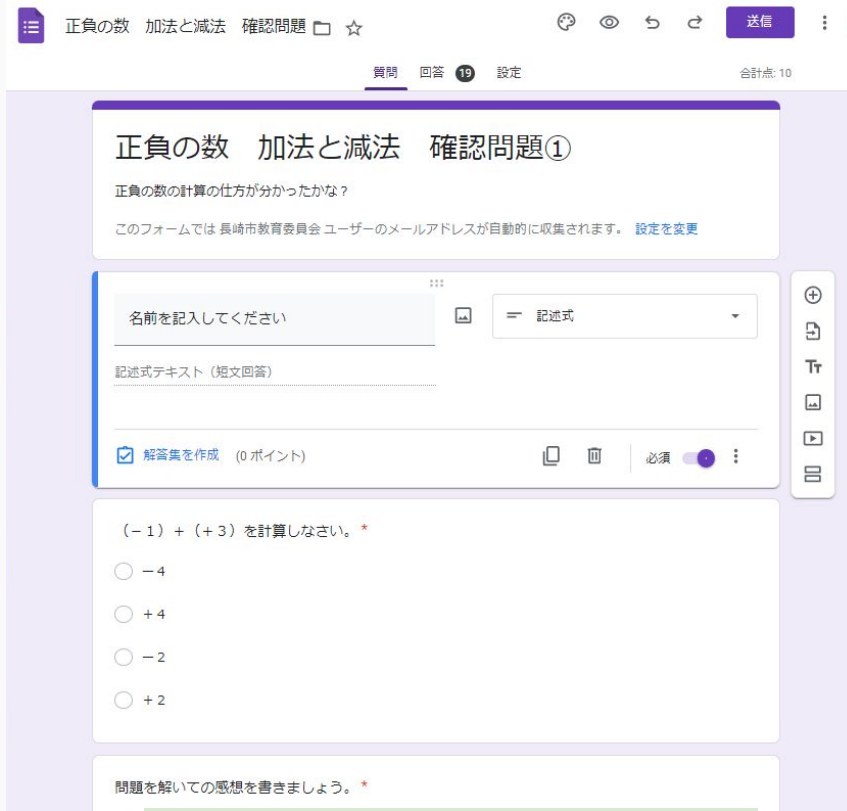
		
<p>①「9点マーク(Google アプリ)」をクリック →「Jamboard」をクリック</p>	<p>②右下の「+」をクリック</p>	<p>③左上の「無題の Jam」をクリック</p>

	 <p>→ ペン・マーカー・蛍光ペン等</p>  <p>→ 消しゴム</p>	 <p>→ 画像の挿入</p>  <p>→ 図形の挿入</p>
---	--	---

3. 職員研修と授業実践 (1) 職員研修 (アプリの使い方・7月)



すごろくトーキング



小テストの作成

3. 職員研修と授業実践 (1) 職員研修 (教科部会・8月)



教師同士が支え合い、協働的に学んだ”夏”

3. 職員研修と授業実践 (2) 研究授業

① 校内研究授業

- 全員参観
- 授業後に研究協議

② ミニ二授業

- 指導案を簡略化
- 手軽に授業、気軽に参観

全職員が研究授業を実施

桜馬場中 GIGA 実践 授業計画

教科	国語	学年	1年生
単元・題材名	6 いにしへの心につれる 古典の言葉「歴史的仮名遣い」		
日時	12月9日(金) 5校時 1年2組		
本時の目標	歴史的仮名遣いの読み方や特徴について理解し、現代仮名遣いに直すことができる。		
本時の評価	歴史的仮名遣いの特徴について気づき、現代仮名遣いに直すことができたか。		
場面	生徒の学習活動	ICTの効果的な活用 ・「個別最適な学び」 「協働的な学び」のための手立て	主な使用アプリ
展開	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む。	さまざまな種類の古文の言葉を提示しておく。	ジャムボード
展開	言葉を分類し、歴史的仮名遣いの特徴や法則性に気づく。	提示された語句をグルーピングする。 個人→班	ジャムボード

Chromebookの利活用に
焦点化



気体の性質と集め方(1年理科)

<p>水にとけにくい</p>	<p>水にとけやすい</p> <p>空気よりも密度が小さい</p>	<p>水にとけやすい</p> <p>空気よりも密度が大きい</p>

	酸素	二酸化炭素	水素	アンモニア
発生方法	二酸化マンガンにオキシドールを加える	石灰石にうすい塩酸を加える	マグネシウム(金属)にうすい塩酸を加える	アンモニア水を加熱する
密度	空気よりも大きい	空気よりも大きい	空気よりも小さい	空気よりも小さい
水へのとけ方	とげにくい	少しとける	とげにくい	非常にとけやすい
性質	線香の火を入れると、炎をあげて激しく燃える	石灰水にとおすと、白くにごる	マッチの火を近づけると、音をたてて燃える	水にとけるとアルカリ性を示す

ふさわしい場所へ付箋を動かす

性質を付箋に書く

3. 職員研修と授業実践 (2) 研究授業



リズムアンサンブル(3年音楽)



パフォーマンスを録画・録音する



**客観的に聴く、見る
ことで工夫を重ねる**

3. 職員研修と授業実践 (2) 研究授業



塩むすび(3年道徳)



アンケート結果の共有

9月26日の道徳のアンケート(回答)のコピー ☆ 📄 ☁

ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール 拡張機能 ヘルプ 最終編集: 数秒前

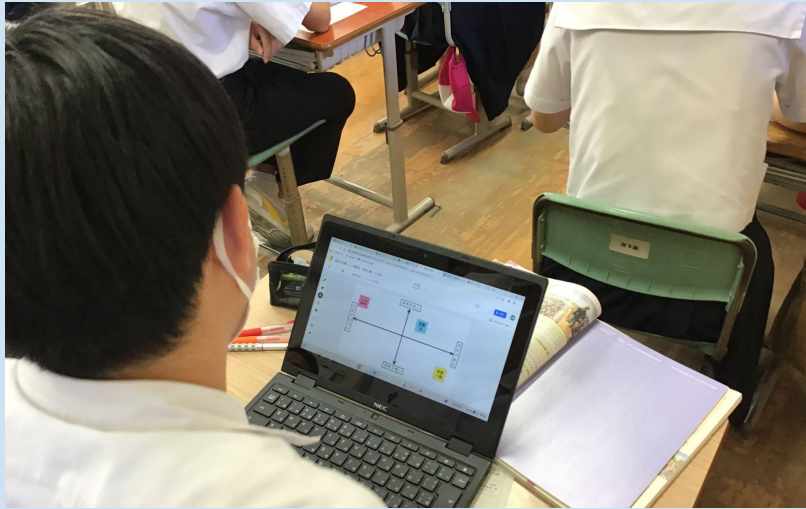
50% ¥ % .0 .00 123▼ デフォルト... 10 B I S A

	A	B	C
1	タイムスタンプ	あなたの名前は?	あなたの"好きなおにぎり"を教えてください。(何個答えてもOK!!! お店で売っているものでも、家で作っているオリジナルのものでも何でもよい!!!)
2	2022/09/25 17:15:08	○○ ○○	鮭 とろろ
3			大根の葉っぱを甘辛くしたやつのおにぎり ツナマヨ 昆布 鶏めし
4	2022/09/25 17:36:58	○○ ○○	塩 ツナマヨ
5	2022/09/25 18:11:47	○○ ○○	セブンのツナマヨ!!!
6	2022/09/25 18:33:59	○○ ○○	しゃけおにぎり ツナマヨ
7			ちくわとごま塩のおにぎり せぶんの鮭ハラスのおにぎり セブンの和風シーチキンマヨのおにぎり
8	2022/09/25 18:49:38	○○ ○○	かしわ飯のおにぎり
9		○○ ○○	塩おにぎり

3. 職員研修と授業実践 (2) 研究授業



民主主義の政治の特徴(3年社会)



議決の仕方の公正さについて付箋を座標軸の場所に貼り付ける



多数決の問題点について意見を出し合う

3. 職員研修と授業実践 (2) 研究授業



研究協議



	効果的だったこと	課題が見えたところ	改善案・授業アイデア
個別最適な学び			
協働的な学び			

ジャムボードを活用した協働的な教師の学び

3. 職員研修と授業実践 (2) 研究授業



研究協議



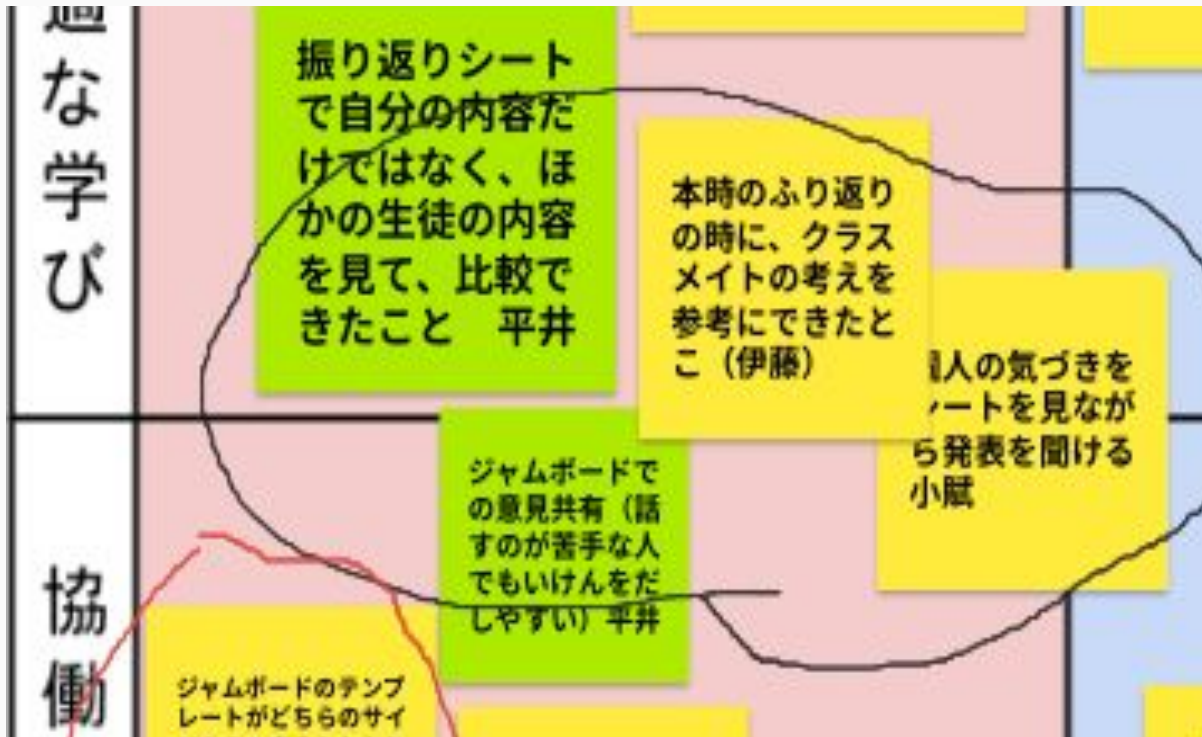
	効果的だったこと	課題が見えたところ	改善案・授業アイデア
個別最適な学び	<p>気づきの発表のスライドで、みんなの顔が上がった 小賦</p> <p>振り返りシートで自分の内容だけではなく、ほかの生徒の内容を見て、比較できたこと 平井</p> <p>本時のふり返りの時に、クラスメイトの考えを参考にできたこと (伊藤)</p> <p>個人の気づきを見ながら発表を聞ける 小賦</p>	<p>友人の意見を聞いて、さらに思うことがあった生徒がいたのでは。クラスの雰囲気からすると、問いかければ答える生徒がいたのかも 小賦</p> <p>おにぎりを通して具体的な考えが出ていたのに、まとめが抽象的な言葉になったので...小賦</p> <p>ツールとして使い、じっくり考える時間の確保をつくりたい 小賦 特に終末</p>	<p>改善案・授業アイデア</p>
協働的な学び	<p>ジャムボードでの意見共有 (話すのが苦手な人でもいけんをだすやすい) 平井</p> <p>ジャムボードのテンプレートがどちらのサイドからの考えかわかりやすく、生徒が書きやすかったと思う。(伊藤)</p> <p>背景が見やすく、書き込み意欲がわく 小賦</p> <p>ジャムボードを使いながらも生徒の会話があったこと (伊藤)</p> <p>友人の意見が見られるので、自分の考えが行き詰っても前に進める 小賦</p>	<p>友人の気づきを見ながら発表を聞ける 小賦</p> <p>本文から離れて考える生徒がいた 小賦 (先生のアドバイスで読み込もうとした)</p>	<p>板書とCBの両方で考えの流れを示すことが必要だと思う。(伊藤)</p> <p>TV画面で見えないときに個々のCBで見ているときにポインターを使って明示しては? (伊藤)</p> <p>テレビの画面では見れないため、自分のパソコンを使ってみたいといけないうことになり、発表の時に目線が下になってしまう ひら</p>



研究協議

「個別最適な学び」

「協働的な学び」



3. 職員研修と授業実践 (3) 実践事例集の作成

① 実践事例集



配付資料

国語科・1年

単元	いにしえの心につぶれる
本時の学習	古典の言葉～歴史的仮名遣い～
目標	歴史的仮名遣いの読み方や特徴について理解し、現代仮名遣いに直すことができる。
活用アプリ等	ジャムボード

【概要と手順】

	手順	Chromebookの活用等
①	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む。	様々な古文単語をジャムボードに表示しておく。
②	歴史的仮名遣いの特徴や法則性について協議し、古文単語を分類する。個人で考え、班で協議することで、考えを深めさせる。	提示された古文単語をジャムボード上でグルーピングする。
③	班で考えた歴史的仮名遣いの特徴や法則性について発表する。	色や囲み等でグルーピングされた他の班のジャムボードを見ることで、歴史的仮名遣いへの理解を深める。

数学科・3年

単元	円の性質の利用
本時の学習	円の性質を利用しながら証明する
目標	三角形が相似であることを、円の性質を利用しながら証明することができる。
活用アプリ等	スライド

【概要と手順】

	手順	Chromebookの活用等
①	円の性質を利用して、三角形が相似であることを証明する。	辺や角、性質や相似条件をスライドのテキストボックスで準備しておき、移動させる。
②	証明を進める上での手順を確認する。	辺や角、性質や相似条件を色分けして準備しておき、証明の手順を確認する。
③	確認した手順を意識しながら、証明をする。	証明を進めていく上での優先順位を確認し、見通しをわたせる。
④	円の性質を積極的に用いて、発展問題にチャレンジする。	習熟度ごとに発展問題をスライドで準備しておく。

3. 職員研修と授業実践 (3) 実践事例集の作成

②事例集で紹介したテンプレートファイル提供

【テンプレートファイルの保存先】

共有ドライブ



- > 全職員共有
- > 05_GIGAスクール
- > 01_フロンティアGIGAスクール指定校
- > j03桜馬場中
- > R04実践事例集テンプレート

必ずコピーして使用を！

	酸 素	二酸化炭素	水 素	アンモニア
発生方法	二酸化マンガンにオキシドールを加える	石灰石にうすい塩酸を加える	マグネシウム(金属)にうすい塩酸を加える	アンモニア水を加熱する
密度	空気よりも大きい	空気よりも大きい	空気よりも小さい	空気よりも小さい
水へのとけ方	とけにくい	少しとける	とけにくい	非常にとけやすい
性質	緑色の火を入れると、炎をあげて激しく燃える	石灰水にとおすと、白くにごる	マッチの火を近づけると、音をたてて燃える	水にとけるとアルカリ性を示す

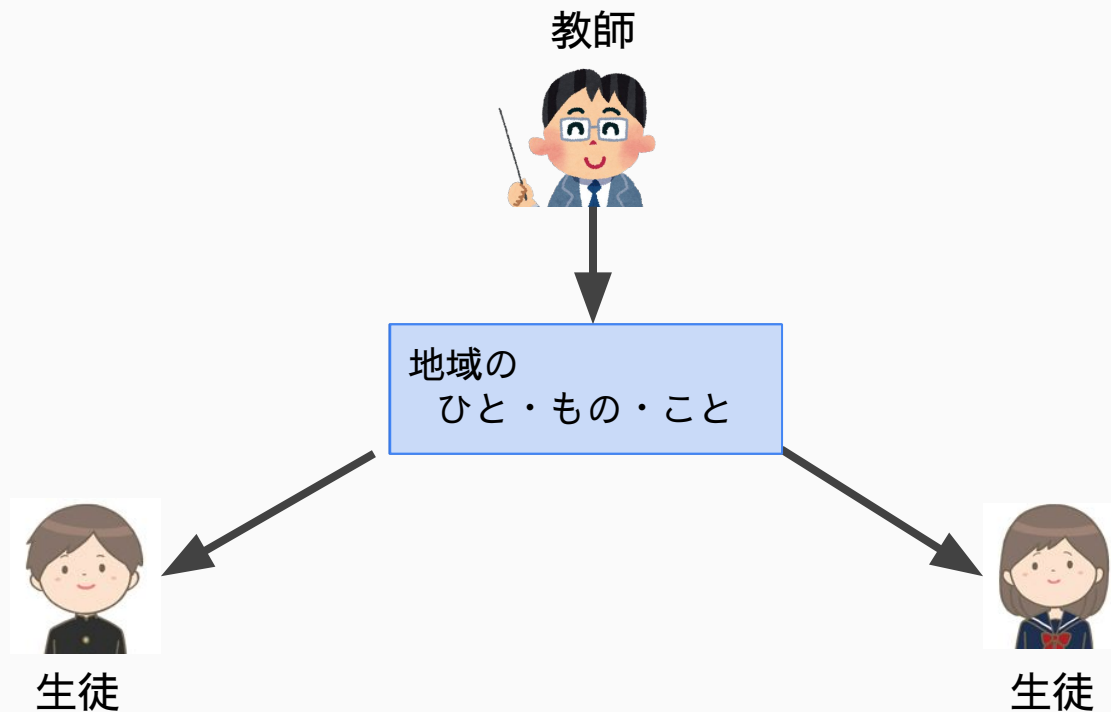
水にとけにくい	水にとけやすい 空気よりも密度が小さい	水にとけやすい 空気よりも密度が大きい

探究心育成チーム

1. Chromebookを活用した探究的な学習
2. 探究心育成チームの取組
3. 生徒の声

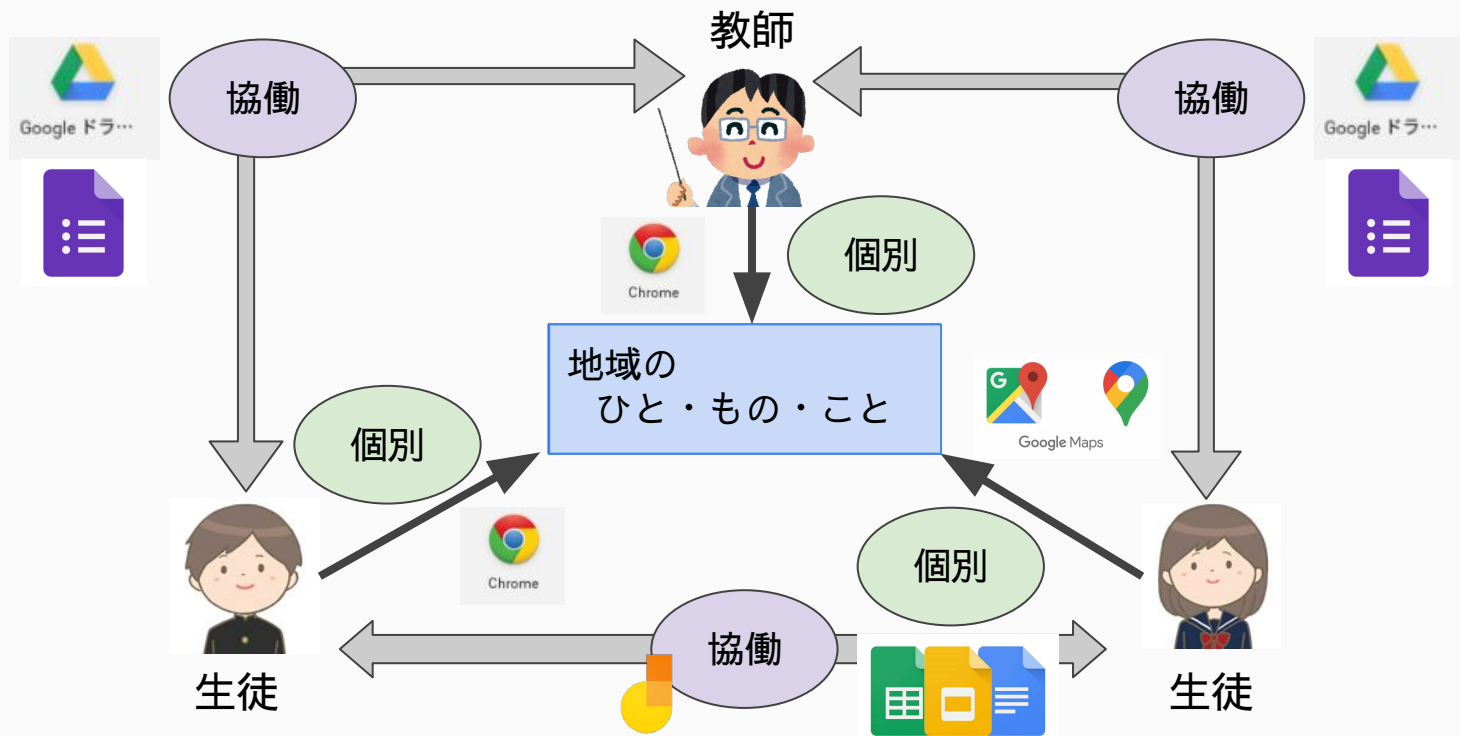
1. Chromebookを活用した探究的な学習

これまでの総合的な学習の時間の在り方

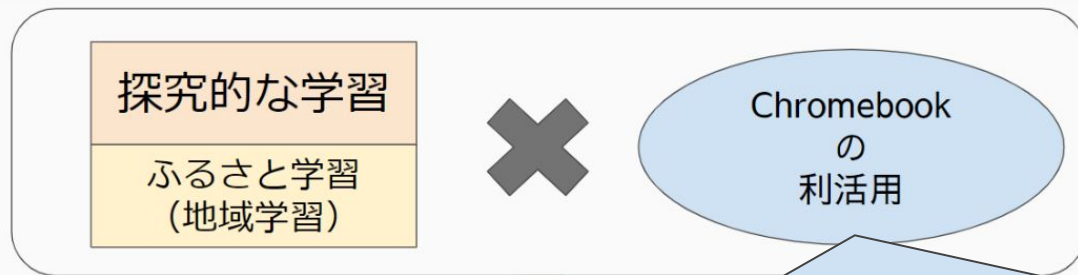


1. Chromebookを活用した探究的な学習

理想とする総合的な学習の時間の在り方

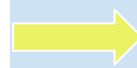


1. Chromebookを活用した探究的な学習



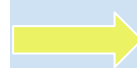
〈効果的に探究的な学習を進めるための取組〉

① ジャムボードを用いた思考の整理



思考ツール

② スプレッドシートを用いた振り返り



振り返り
シート

1. Chromebookを活用した探究的な学習

桜馬場中学校 総合的な学習の時間 全体テーマ

「つなげよう！桜プライド！～桜を愛し、桜を知り、桜を届ける～」

1年生

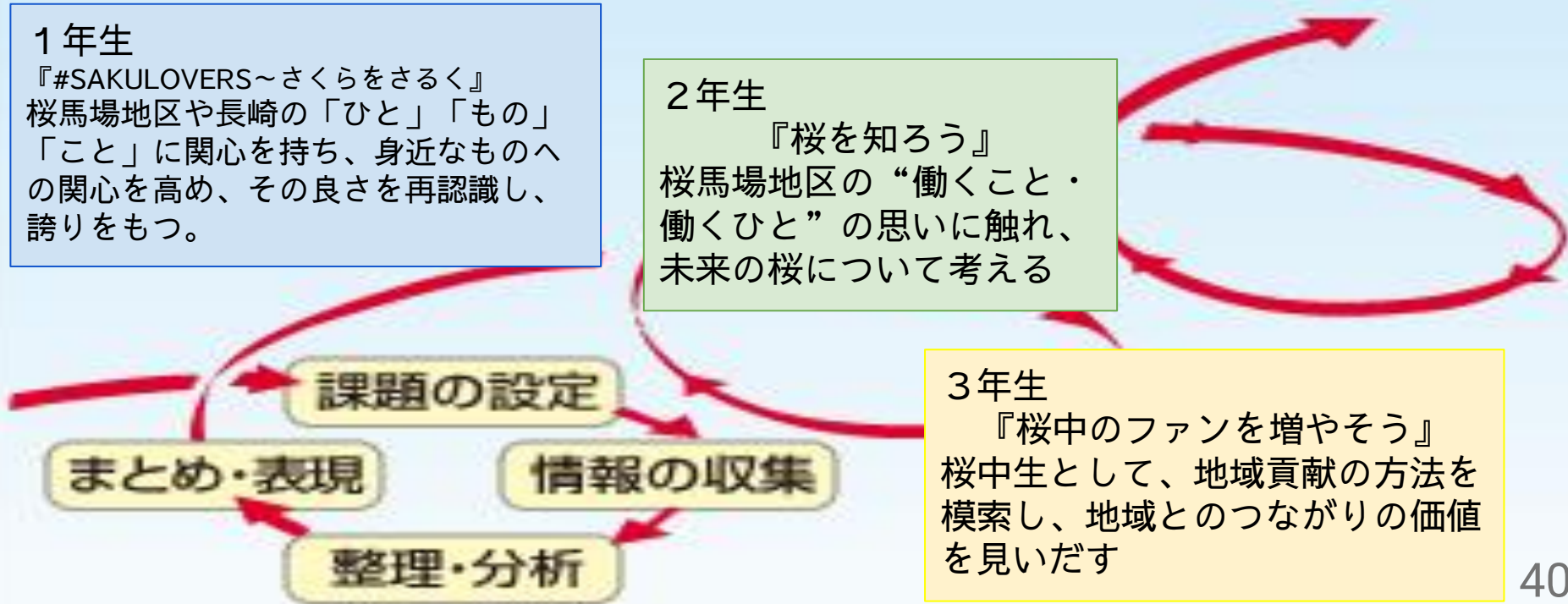
『#SAKULOVERS～さくらをさるく』
桜馬場地区や長崎の「ひと」「もの」「こと」に関心を持ち、身近なものへの関心を高め、その良さを再認識し、誇りをもつ。

2年生

『桜を知ろう』
桜馬場地区の“働くこと・働くひと”の思いに触れ、未来の桜について考える

3年生

『桜中のファンを増やそう』
桜中生として、地域貢献の方法を模索し、地域とのつながりの価値を見いだす



2. 探究心育成チームの取組

3年生テーマ

**桜中のファンを
増やそう！**

**～地域と「つながる」
幸せ届け隊～**

桜中生として、地域
貢献の方法を模索し、
地域とつながる価値を
追究する

学習計画（計15時間）

①

導入 「部活動の地域
移行」について、
意見交換する
中で、探究学習
の良さ気づ
き、地域学習へ
意識を向ける。

②

課題設定 生徒数減少等
の学校・地域の
課題を知り、地
域魅力や課題
を考え、自分に
できることを
考える。

③

情報の収集 地域の方と意
見交換を行い、
桜中のファン
が増えるため
の発信方法を
探る。

④

整理分析 「実現可能か」な
どの視点を踏ま
えて、実践・評価
を行う。

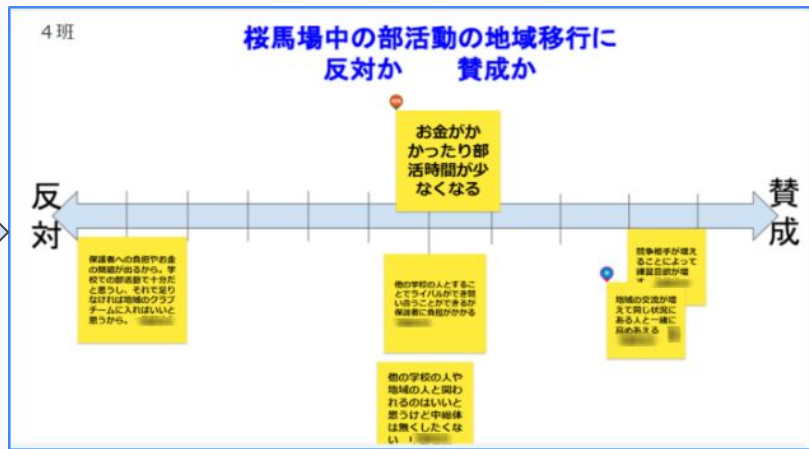
⑤

表現・まとめ 相手や目的、意
図に応じたまと
め方を選ぶ。
それぞれの課題
についての解決
策や取り組み
をプレゼンする。

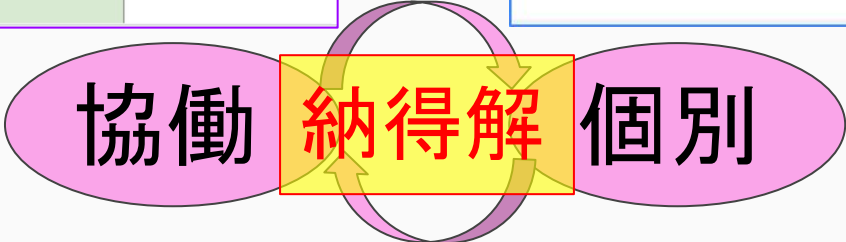
2. 探究心育成チームの取組

① 導入場面

探究学習のオリエンテーションを実施。「部活動の地域移行の是非」について考えを共有していく中で、自分なりの納得解を導き出す。



バタフライチャートを用いて、思考を広げていく

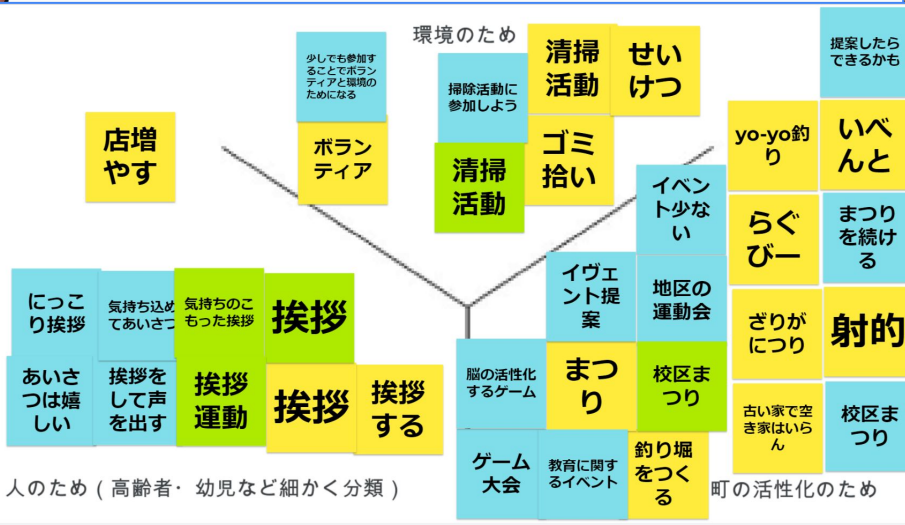


友達の意見を参考に、自分の考えを深めていく

2. 探究心育成チームの取組

③ 情報収集場面

自分たちの考えをもとに地域の方と意見交流会を開催。アイデアが広がった。



【付せんの種類】

- 生徒の意見
- 地域の方の意見
- 共に出した考え

2. 探究心育成チームの取組

導入

課題設定

情報の収集

整理分析

まとめ表現

④ 整理分析場面 地域の方との意見交流会を受け、活動計画をスライドでまとめ、実践。

私たちが取り組むテーマ

清掃活動



なぜ、そのテーマにしたのか（テーマ設定の理由）しっかりと書きましょう

地域にたくさんのゴミが落ちているから
ゴミがたくさん落ちている町は空気が悪いから良くしたい！
地域の人達の気持ちを良くしたい！

↑
自分たちの気持ちも良くなる

これからの計画・役割分担

(計画を立てる→準備する→実践する→発表に向けた資料作り→発表練習)

日程	1回目(10月6日) 2時間	2回目(10月14日) 2時間	3回目(10月18日) 2時間	4回目(10月21日) 2時間	5回目(10月24日) 1時間
内容		中通り	中島川	資料作成	発表練習
役割分担				服装 桜中生とわかるように、タスキみたいなのを付ける 道具 ほうき、ちりとり、トンブ、ごみ袋など 掃除をしているときは ・すれ違った地域の方には、あいさつ+一言(いってらっしゃいなど) ・交通ルールを守り、道の端によって行う	



2. 探究心育成チームの取組

導入

課題設定

情報の収集

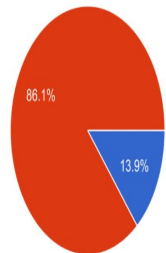
整理分析

まとめ表現

④ 整理分析場面 生徒の柔軟なChromebookの利活用

質問2

(伊良林、矢の平、風頭山区域に住んでいる人限...画を見て若宮神輿に参加したいと思いましたが? 79件の回答)



住んでいる人の約9割が参加したくないと回答



地元のお祭りについての意識調査

●フォーム

フリマーケットで出品する販売価格の協議

●スプレッドシート

地域PR動画に導入するナレーションの撮影

●音声録音機能

2. 探究心育成チームの取組

導入

課題設定

情報の収集

整理分析

まとめ表現

⑥ まとめ・表現場面

リモートにて活動報告会の実施。
最後は、振り返りを活用してまとめの時間を設けた。



振り返りを入力し、リアルタイムで共有

シーボルト来日200周年
2023年9月11日

来て帰っただけの人じゃない

実際の写真!! 頑張りました!

いっぱい取れました

楽しく協力して
できました

シーボルト記念館
TEL:090-823-9170
E-mail:seibok@naagasaki.kg.jp

Map&ページ PR動画



2. 探究心育成チームの取組

導入

課題設定

情報の収集

整理分析

まとめ表現

⑥ まとめ・表現場面 スプレッドシートの振り返りを活用

①今日の学びの整理

桜馬場中学校のファンを増やすためにはまあたりまえのことから徹底すべきだと感じました。挨拶は自分たちが一番やりやすいことでおかつ挨拶をされた側は嬉しいわけだから自分ができる一番当たり前の挨拶はもっと徹底したいと思いました。

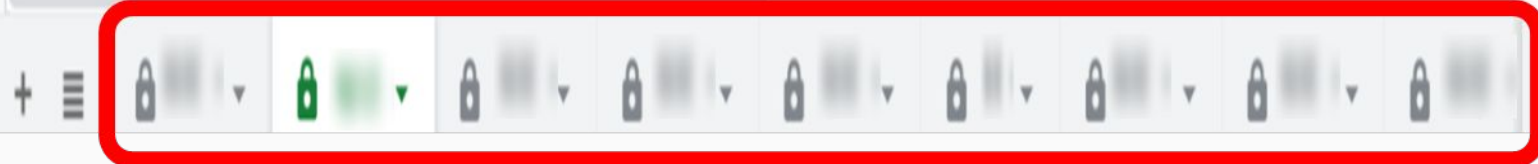
②協働的な学びで得た気づき

皆他人事にせず桜馬場中学校をよりよいものとして魅力を最大限に見せられる方法を考えていて、皆桜馬場中学校が大好きで皆に魅力を知ってもらおうことで桜馬場中学校を好きになって欲しいと感じられました。桜馬場中学校のことをもっと好きになってもらうためにはまず一人一人が今回出した意見のできることを徹底すべきだと思います。

③主体的に学びに向かう態度

出した意見の中でこれは実現はほぼ不可能に等しいと考えられるものもあったけどその中でユーチューブのチャンネルで桜馬場中学校の魅力を発信できるものはいいと思ったしできることならやってみたく感じました。

※生徒一人一人のシートを作成



2. 探究心育成チームの取組

1年生テーマ

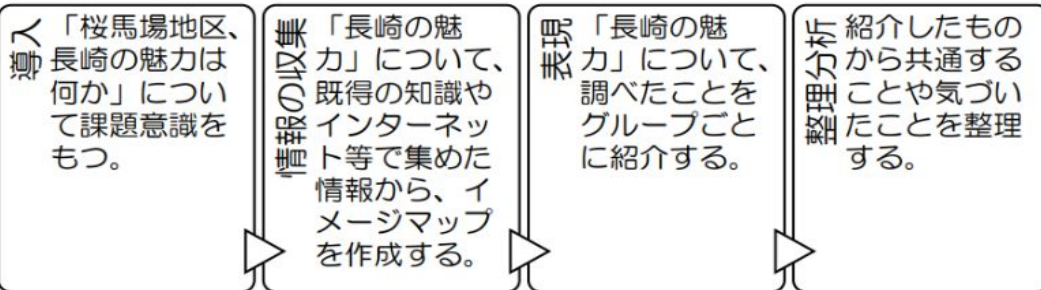
「桜を愛そう」
#SAKULOVERS～
さくらをさるく～
(計15時間)

桜馬場地区や長崎の
「ひと」「もの」「こと」に関心を持ち、身近なものへの関心を高め、その良さを再認識し、誇りをもつ。

学習計画

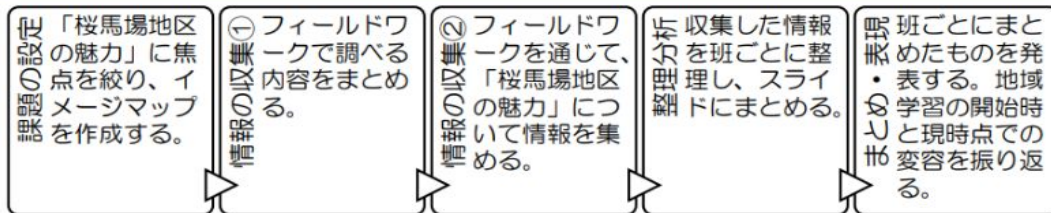
小单元1

長崎の魅力を調べて、紹介する。



小单元2

フィールドワークを行い、桜馬場地区の魅力について考えを深める。



2. 探究心育成チームの取組

導入

課題設定

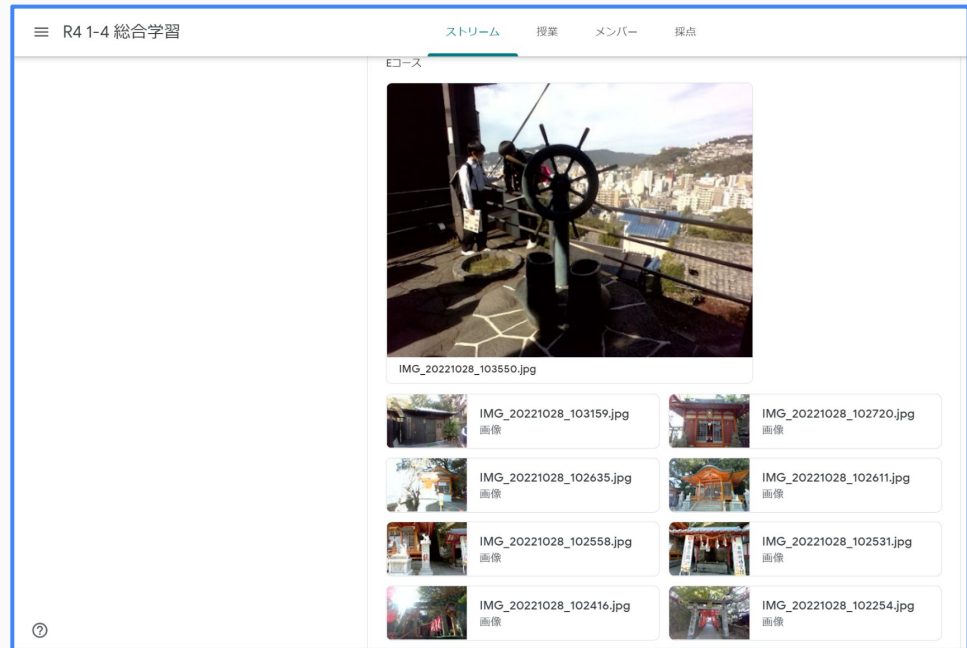
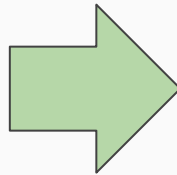
情報の収集

整理分析

まとめ表現

1年生テーマ 「桜を愛そう」 #SAKULOVERS～さくらをさるく～

情報収集場面 「さくらさるく」を実施。桜馬場地区を歩き、写真を撮って、クラスルームで共有し、発表資料作りに使いました



2. 探究心育成チームの取組

2年生テーマ

**「桜を知ろう」
～キャリア教育と
の結びつき～**

(計25時間)

桜馬場地区の“働くこと・働くひと”の思いに触れ、未来の桜について考える

学習計画

小単元1 「桜馬場地区の魅力と課題」について、考える。

導入

「桜馬場地区の魅力と課題は何か」ということについて課題意識をもつ。

情報の収集①

「桜馬場地区の魅力と課題」について、各自がもっている知識を出す。

情報の収集②

「桜馬場地区の魅力と課題」について、インターネットを活用して情報を集める。

整理分析

収集した情報を、視点を決めて分類・整理する。

まとめ・表現

視点ごとに分類した「桜馬場地区の魅力と課題」についてまとめ、発表する。

小単元2

「桜馬場地区の魅力と課題」について、体験したり、地域の人々に話を聞いたりして、考えを深める。

課題の設定

「桜馬場地区の魅力と課題」について、地域に暮らす人々から話を聞こう。

情報の収集①

誰に話を聞くのか、何を聞くのか、調べたい内容を焦点化する。

情報の収集②

地域のために働く人、地域で働く人、地域に暮らす人に話を聞く。

整理分析

インタビューやアンケートの内容を整理する。

まとめ・表現

「桜馬場地区の魅力と課題」について、まとめ、発表する。

2. 探究心育成チームの取組

導入

課題設定

情報の収集

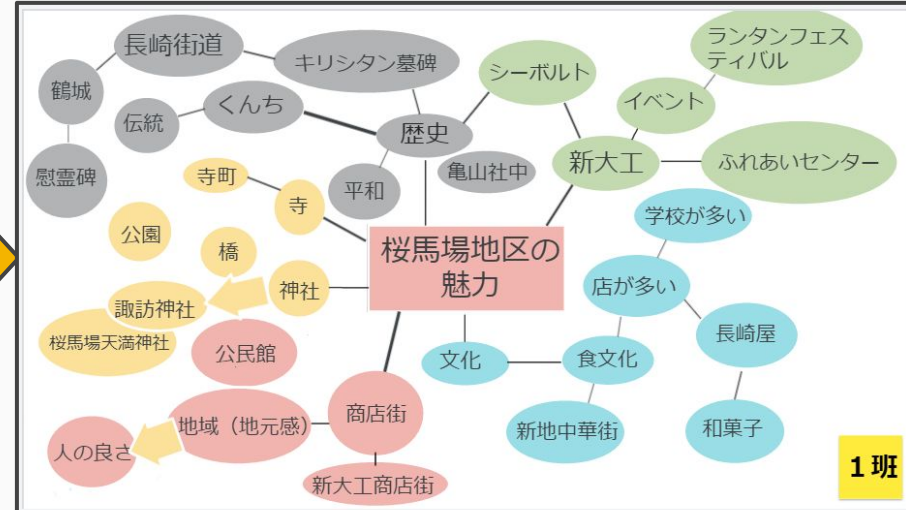
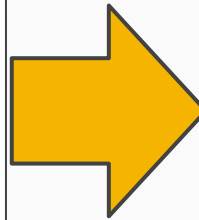
整理分析

まとめ表現

2年生テーマ「桜を知ろう」～キャリア教育との結びつき～

課題設定場面 「桜馬場地区の魅力」をイメージマップにまとめる

ふるさと(桜馬場地区)の魅力は何だろう？



自由に記述させる

イメージマップにまとめる

2. 探究心育成チームの取組

導入

課題設定

情報の収集

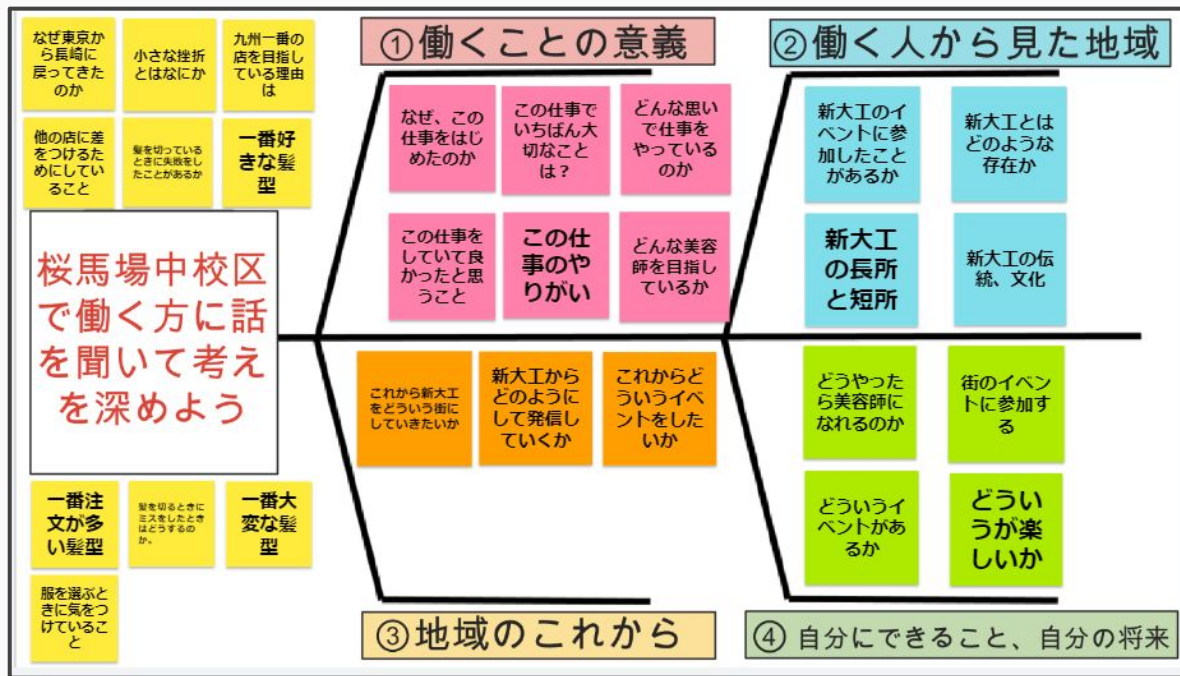
整理分析

まとめ表現

2年生テーマ「桜を知ろう」～キャリア教育との結びつき～

情報収集場面

事前学習で、フィッシュボーンを使って質問内容を整理



桜馬場校区で働く人に職業インタビュー

3. 生徒の声

Chromebookを利活用した生徒の感想

ジャムボードを使うことで、自分やみんなの意見をすぐに共有できたことがとても良かった。

皆で意見交換したジャムボードは、後から見返すことができたので、自分の意見をゆっくり考えることができた。

＜効果的に探究学習を進めるための取組＞

① ジャムボードを用いた思考の整理

スプレッドシートを用いた振り返り

探究的な学習

ふるさと学習
(地域学習)



Chromebook
の
利活用

前の時間の振り返りがわかるので、前回とは違った感想、振り返りが書けた。

みんなと共有していたので、友だちの進み具合や考えが分かった。迷った時に参考にできた。



3. 生徒の声

地域学習を終えた生徒の感想



正解がない「探究学習」だからこそ、本音で語り、人の意見をよく聞く良い機会となりました。

予測困難な時代を生きる私達にとって、自分の考えを持つことは私達の強みになると思います。

地域のために、大人も子供も関係なく、**一緒に話し、真剣に考え、活動を楽しむ**ことが、桜中の**「国際社会に生きるよき日本人」**という学校教育目標につながると実感した。

調査分析チーム

1. アンケート結果の分析
2. 研究のまとめ

1. アンケート結果の分析

令和4年度 長崎市立桜馬場中学校 研究主題

①

1人1人の力を高め、

②

共によりよく生きようとする生徒の育成

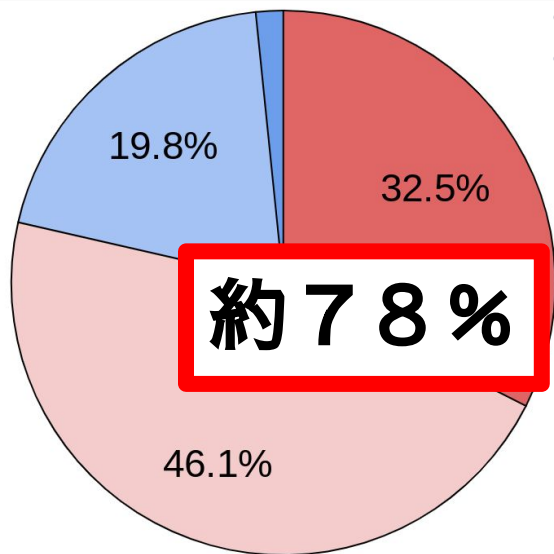
～Chromebookの利活用に夢をのせて～

1. アンケート結果の分析（成果）

① 1人1人の力を高め

クロームブックを使うようになって自分のペースで学習を進められるようになったと感じたか？

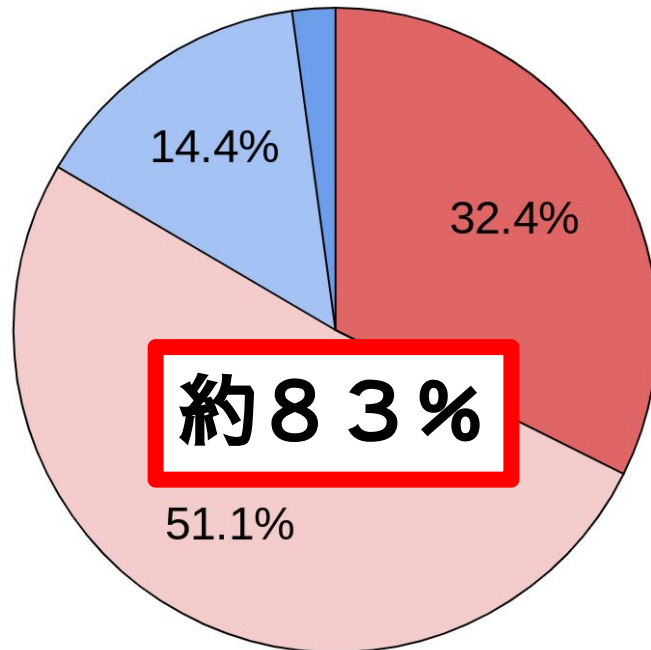
- 当てはまる
- どちらかといえば当てはまる
- どちらかといえば当てはまらない
- 当てはまらない



R4 前期



+5%



R4 後期

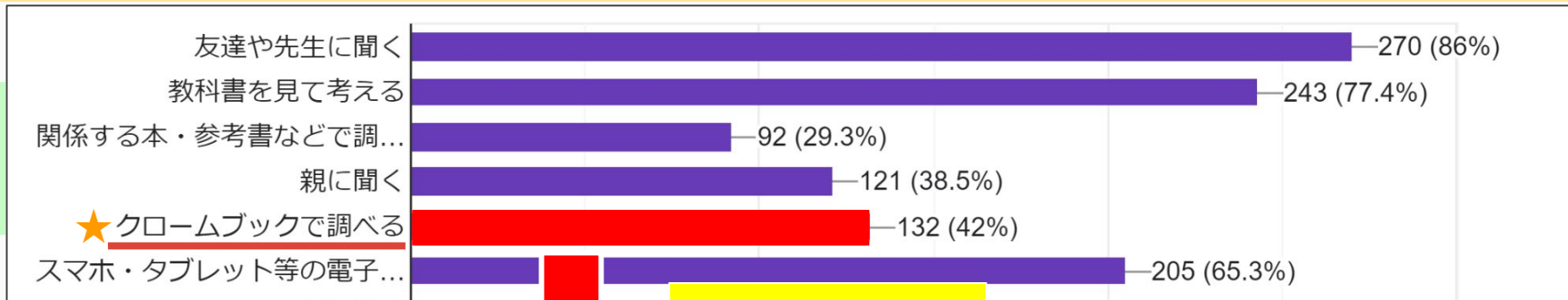
1. アンケート結果の分析（成果）

① 1人1人の力を高め

学習でわからないことがあったときに、どのように解決しようとするか？

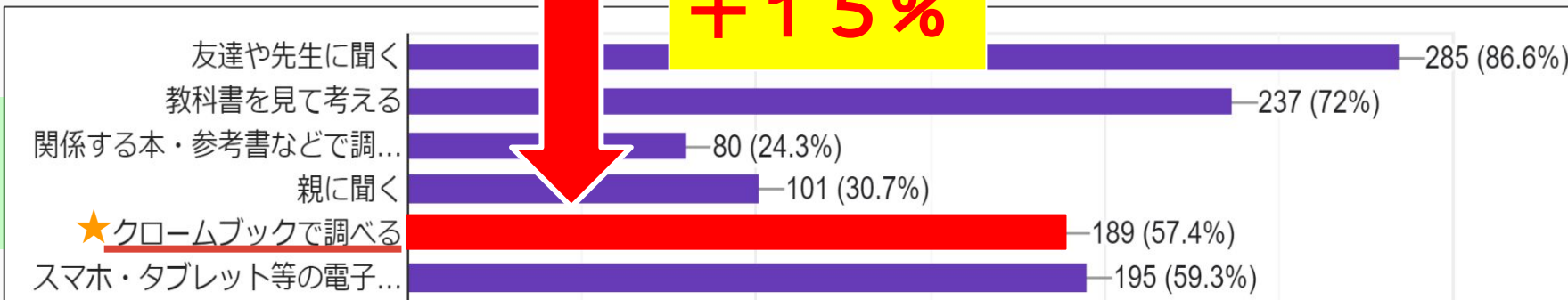
（複数回答可）

R4
前期



+15%

R4
後期

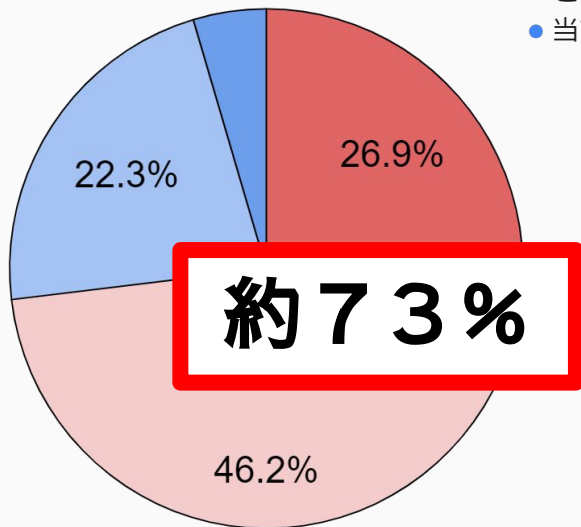


1. アンケート結果の分析（成果）

① 1人1人の力を高め

各教科で学んだことを生かしながら、**自分の考えをまとめる活動**を行ってきたか。

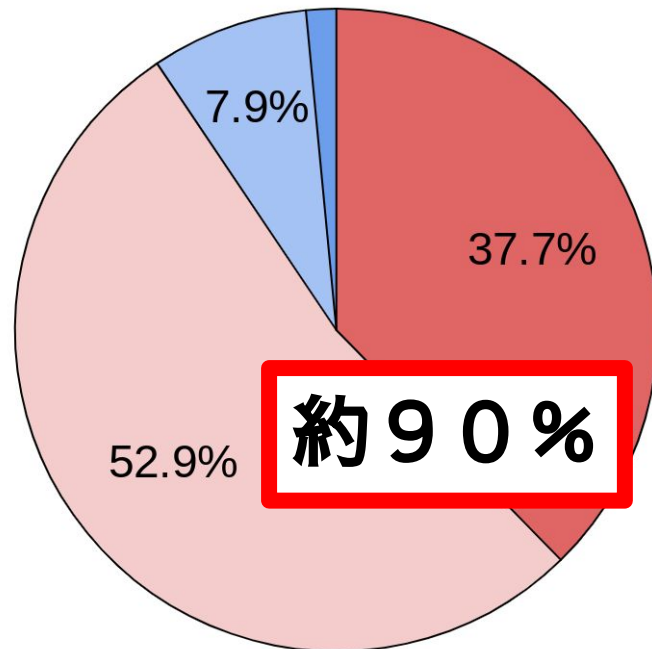
- 当てはまる
- どちらかといえば当てはまる
- どちらかといえば当てはまらない
- 当てはまらない



R4 前期



+17%



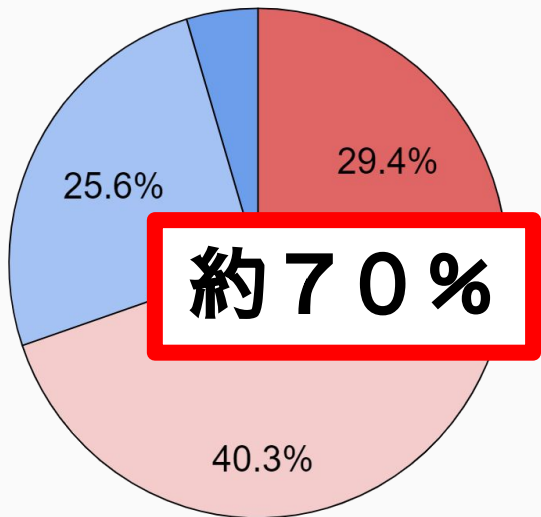
R4 後期

1. アンケート結果の分析（成果）

① 1人1人の力を高め

各教科で学んだことを生かしながら、**思いや考えをもとに新しいものを作り出す活動**を行ってきたか。

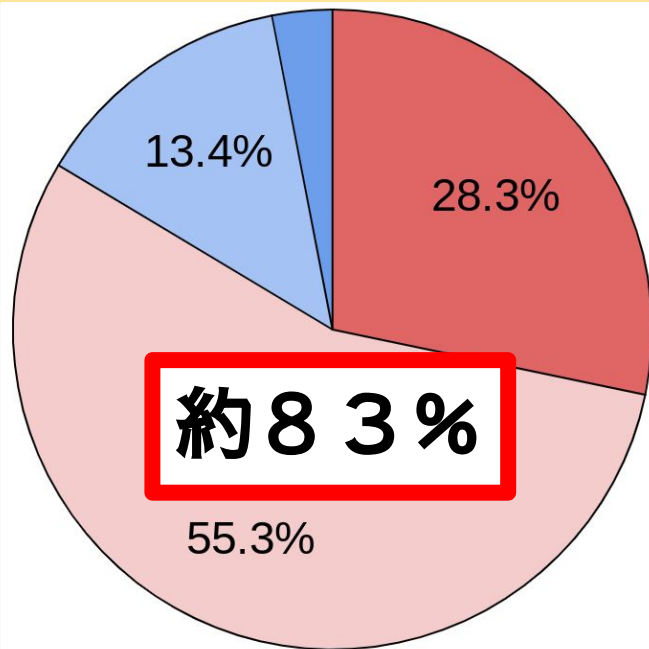
- 当てはまる
- どちらかといえば当てはまる
- どちらかといえば当てはまらない
- 当てはまらない



R4 前期



+13%



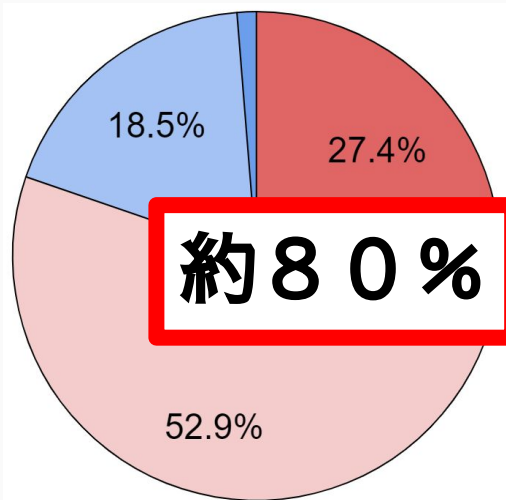
R4 後期

1. アンケート結果の分析（成果）

②共によりよく生きよう

クROOMブックを使うようになって**友達と協働**できるようになったと感じたか？

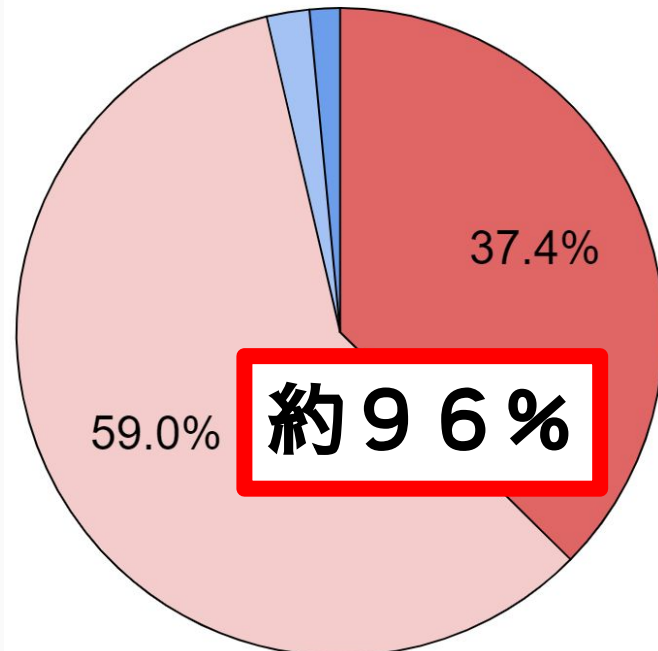
- 当てはまる
- どちらかといえば当てはまる
- どちらかといえば当てはまらない
- 当てはまらない



R4 前期



+16%



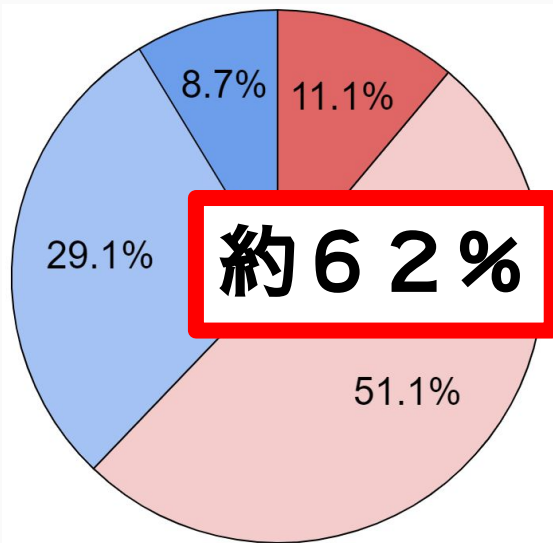
R4 後期

1. アンケート結果の分析（成果）

②共によりよく生きよう

地域や社会をよりよくするために何をすべきか考えることはあるか？

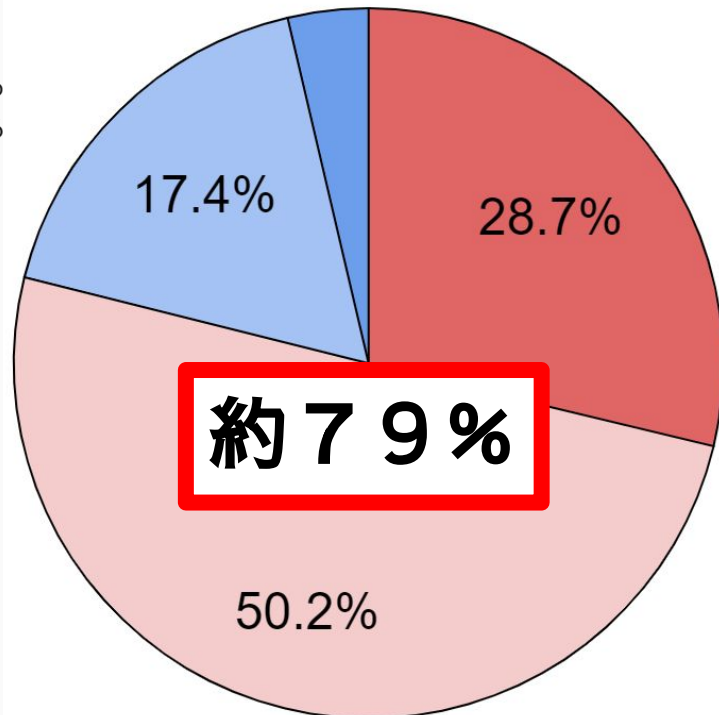
- 当てはまる
- どちらかといえば当てはまる
- どちらかといえば当てはまら
- 当てはまらない



R4 前期



+17%



R4 後期

クROOMブックを使ってよかったことや、役に立った場面

- スライドでのレポートなど**紙よりも修正がしやすかった。**
- スライドを**共有**することで**意見交換**がしやすかった。
- **みんなの意見が一つのシートにまとまるから見やすかった。**
- 今まででは言葉だけで話し合っていたことがパソコンを使うことによって、**素早く簡潔に残すことができるし後で見返すこともできた。**

クロームブックを使用した授業で、特に印象に残っている授業と内容

- 英語：ドキュメントの音声入力を使ったこと
- 数学：円周角の定理を利用した証明でスライドを使用したこと
- 社会：みんなと意見交換のためにジャムボードを使用したこと など



ドキュメントの音声入力

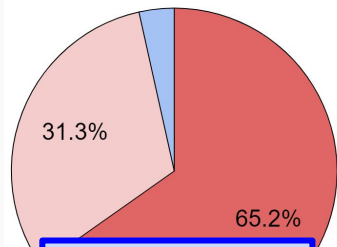


意見交換の場面

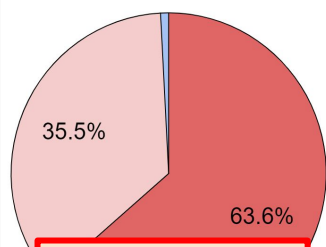
1. アンケート結果の分析（課題）

クロームブックを活用して学習に取り組む意欲や態度が高まったか。

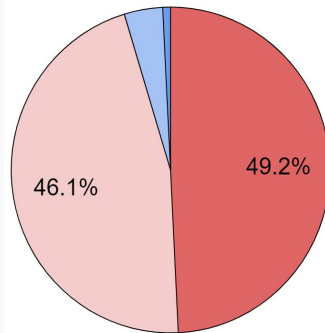
R3
2月



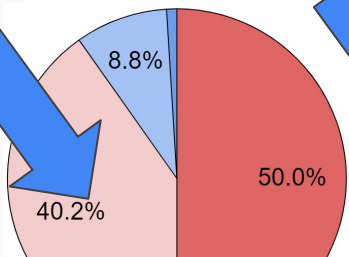
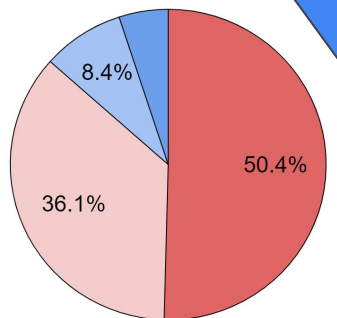
約97%



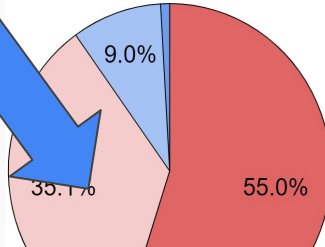
約99%



R4
12月



約90%



約90%

- 当てはまる
- どちらかといえば当てはまる
- どちらかといえば当てはまらない
- 当てはまらない

減少

1年生

2年生

3年生

1. アンケート結果の分析（課題）

クロームブックを活用して学習に取り組む意欲や態度が高まったか。

R3
2月

約97%

約99%

R4
12月

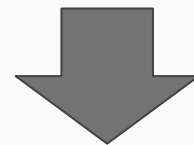
約90%

約90%

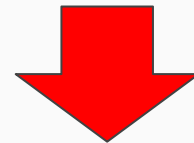
2年生

3年生

授業で使う頻度の増加



Chromebookのツール化



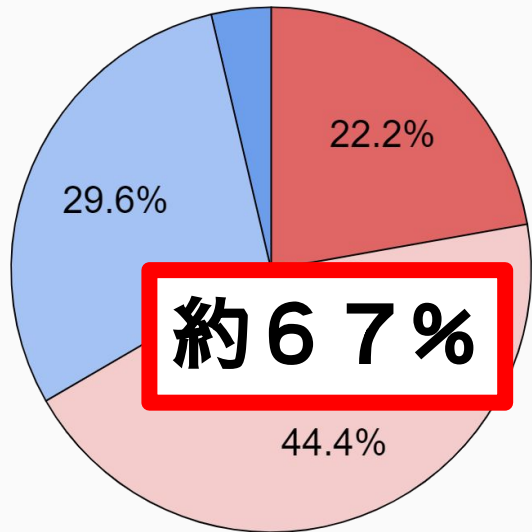
使用⇒利活用へ意識の変化

1. アンケート結果の分析（課題）

クロームブックを活用して学習に取り組む意欲や態度が高まったか。

教師

- 当てはまる
- どちらかといえば当てはまる
- どちらかといえば当てはまらない
- 当てはまらない

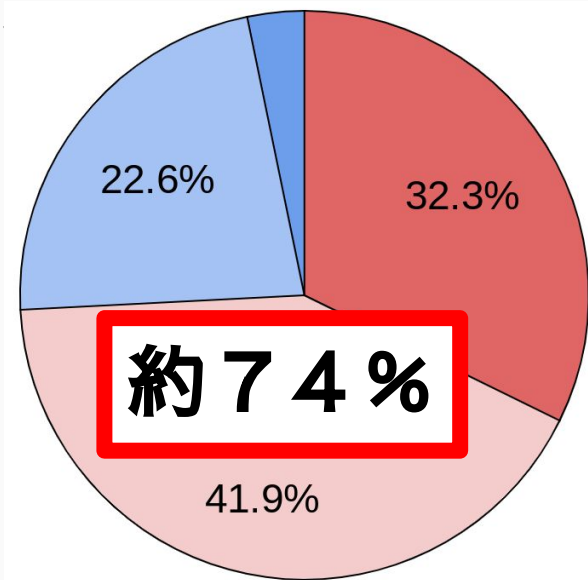


約67%

R4 前期



+7%



約74%

R4 後期

- 知識や技術がなくて、作りたい教材がつかれないこと（作るのに、とても時間がかかること）
- 使いたい、使わなきゃとは思いますが、どの場面に使えばいいかもっと考えないといけない。
- もう少し時間がほしい。まだまだ研修が必要だと感じる。
- 手軽だが、私の能力では今以上の活用ができない。
- 自分たちで自由に資料に共有をかけるなど、子どもたちが使いこなすスピードは教師よりも早く、学びに意欲的な姿勢が見られた。

2. 研究のまとめ

① 全職員による実践事例の蓄積

⇒すべての教職員が協議

② 探究的な学び（地域学習）を実施し、
地域への想いを高めることができた

③ 協働的な学びのよさを実感

⇒教え合い活動、スライドの共有など

2. 研究のまとめ

今後の展望

①自律した学習者の育成

⇒カリキュラムマネジメント、AIドリルの活用

②教師のスキルアップ

⇒教材研究、職員研修、授業実践の蓄積

③環境整備

⇒ICT支援員の活用、教員への1人1台端末の整備



ご清聴ありがとうございました。

質疑応答

総合のカリキュラムや取組についてと合わせて、道徳35時間の計画など教えていただければ、と思います。また、桜馬場中学校での道徳評価についてお聞きしたいです。

- 道徳の計画については、学年ごとに重点項目を決め、教科書の学習内容を中心に取り組んでいます。
- 道徳の評価については、毎時間の生徒の感想をクラスルームの質問やスプレッドシート（心のものさし）で集約し、生徒の変容を見取り、評価に生かしています。

中学1年スタート時点で、小学校でどのようなICT機器についての知識・技能・活用スキルを習得していることを期待していますか。

- ローマ字表を見ずにキーボード入力ができるように、タイピング技能を習得していると、中学校の学習にスムーズに入れると思います。
- 情報モラル（写真を無断でネット上に掲載しない・悪口を書き込まない など）を十分にご指導いただけると助かります。